ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Printed in Malaysia

SONY

3-860-096-**02**(1)

FM/AM
コンパクトディスク
コンパクトプレーヤー

取扱説明書 2ページ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Operating Instructions page 31

Discman

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

D-T405

この取扱説明書について

この取扱説明書ではD-T405の日本国内モデルとワールドモデルについて説明しています。
国内モデルとワールドモデルは付属品に違いがあります。

ワールドモデルとは

日本でも海外でも使用できるように海外、国内の電気事情（電源電圧AC100～240V)に合わせたACパワーアダプターが付属されているモデルです。

ワールドモデルには、ACプラグアダプターが付属されています。
ACプラグアダプターはACパワーアダプターがコンセントと合わない場合にお使いください。

主な特長

FM/AMラジオ付き

FM1 ～5バンドで各5局、AM5局、合計30局の放送局を記憶（プリセット）できます。いったんプリセットしておけば、あとはボタンひとつで選局できます。

10秒音飛びガードESP*

かなり激しい振動にも音飛びしにくい設計です。
*Electronic Shock Protection

光デジタル出力端子付き

CDの音をミニディスクレコーダーなどにデジタル録音することができます。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

目次

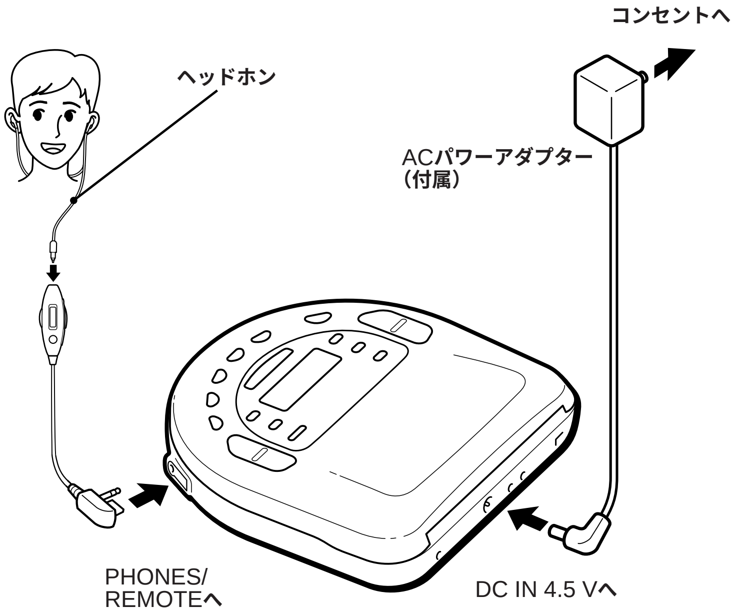
次のページに続く➔

目次（つづき）

CDを聞く A

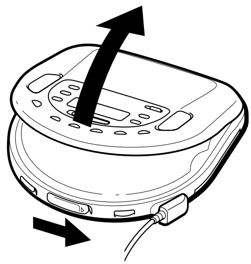
付属のＡＣパワーアダプターを使ってＣＤを聞いてみましょう。
充電式電池、乾電池（「電源」19〜21ページ）や車のバッテリーで聞くこともできます。

1 つなぐ

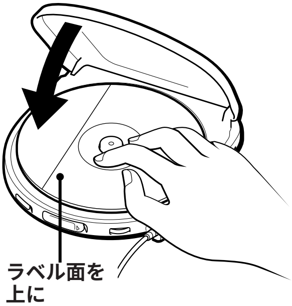


次のページに続く→

2 CDを入れる



① OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。



② CDをはめこむ。

3 聞く

① CD/RADIOスイッチを「CD (RADIO OFF)」に合わせる。

② ▶IIボタンを押す。

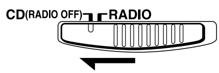


③ 音量を調節する。

止めるには■ボタンを押す。

CD/RADIOスイッチの合わせかた

CDを聞くとき



ラジオを聞くとき

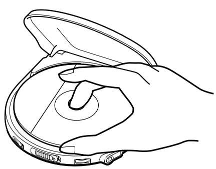


操作	押すボタン
一時停止する（本体のみ）	▶II
一時停止を解除する（本体のみ）	▶II
今聞いている曲を頭出しする（AMS*機能）	I◀◀（リモコンの▶ボタンのI◀◀側）を1度押す。**
前の曲、さらに前の曲を頭出しする（AMS機能）	I◀◀（▶のI◀◀側）を繰り返し押す。**
次の曲を頭出しする（AMS機能）	▶▶I（▶の▶▶I側）を1度押す。**
さらに先の曲を頭出しする（AMS機能）	▶▶I（▶の▶▶I側）を繰り返し押す。**
早戻しする（サーチ機能）	I◀◀（▶のI◀◀側）を押したままにする。**
早送りする（サーチ機能）	▶▶I（▶の▶▶I側）を押したままにする。**

オートマチックミュージックセンサー
＊AMSはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭を探す機能です。
＊＊これらの操作は、演奏中にも一時停止中にもできます。

CDを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端のほうからつまみあげます。



リモコン操作で音量を調節するには

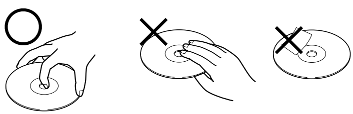
ボリューム
まずリモコン側のVOL(volume)つまみをMAXに合わせ、本体のVOLUMEつまみでリモコンがMAXのときの音量を決めます。

表示窓について

- ▶IIまたは▶ボタンを押すと（RESUMEスイッチがOFFのとき）、総曲数と総演奏時間が約2秒間出ます。
- 演奏中は、演奏中の曲番号とその経過時間が出ます。
- 曲間には、次の曲が始まるまでの時間が出ます。
- 一時停止中は、止まった時点の表示が点滅します。

CDの取り扱いについて

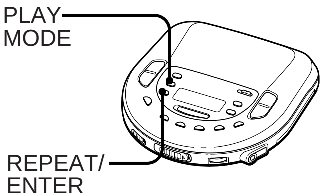
- 演奏面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープを表面に貼らないでください。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、直射日光下で窓を閉め切った車の中に放置しないでください。



繰り返し聞く

（リピート演奏）B

通常の演奏や、イントロプログラム演奏、シャッフル演奏、プログラム演奏を繰り返し聞けます。1曲だけでも繰り返し演奏できます。



全曲を繰り返すには

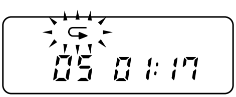
演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押します。
⮌が出ます。



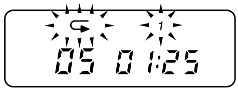
リピート演奏をやめるには、もう1度REPEAT/ENTERボタンを押します。

1曲だけを繰り返すには

1 繰り返したい曲の演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押す。
⮌が出ます。



2 「1」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。



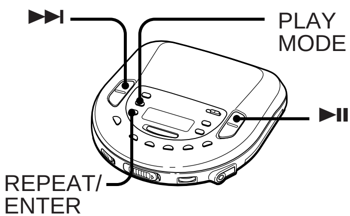
他の曲を繰り返すには⏮または⏭を押します。

リピート演奏をやめるには、もう1度REPEAT/ENTERボタンを押します。

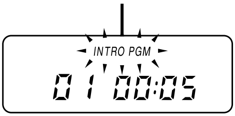
聞きたい曲だけを聞く

（イントロプログラム演奏）C

曲の最初の約15秒をひと通り聞きながら曲を選び、選んだ曲だけを聞けます。



1 演奏中に「INTRO PGM」(イントロプログラム)が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。



2 ▶IIボタンを押す。

各曲の最初の約15秒を次々に演奏します。「INTRO PGM」は速く点滅します。

3 聞きたい曲になったらREPEAT/ENTERボタンを押す。

曲が登録されます。聞きたくないときは次の曲に移るまで待つか、▶▶Iを押します。

最後の曲の演奏が終わると、「INTRO PGM」の点滅が止まり、登録した曲だけが自動的に演奏されます。

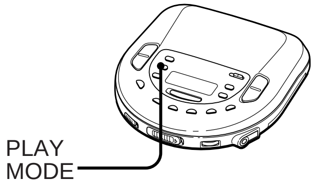
最後の曲までいかずに登録を終了するには、▶IIボタンを押します。登録した曲が演奏されます。

イントロプログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。

順不同に聞く

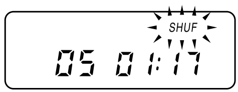
(シャッフル演奏) D

全曲を順不同に聞けます。



演奏中に「SHUF」(シャッフル)が出るまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。

次の曲から順不同で全曲を1回演奏します。



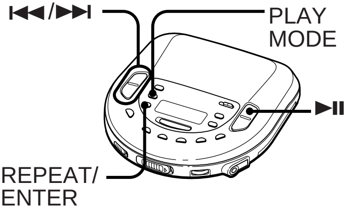
シャッフル演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押します。

ご注意

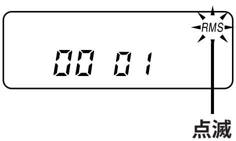
- シャッフル演奏中は、I◀◀を押しても前の曲には戻りません。

好きな順に聞く
（プログラム演奏）E

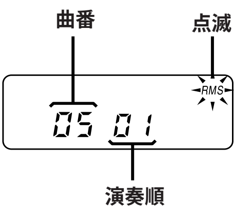
最大22曲まで好きな順に聞けます。



1 **演奏中に「RMS（アールエムエス）」が点滅するまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。**



2 **⏮または⏭ボタンを押して曲番を選ぶ。**
曲番と演奏順が出ます。



3 **REPEAT/ENTERボタンを押す。**

4 **2、3を繰り返して好きな曲順を選ぶ。**

5 **▶IIボタンを押す。**
「RMS」の点滅が止まり、選んだ順に演奏が始まります。

プログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを押します。

プログラムした曲順を確認するには

プログラム中	5の操作の前にREPEAT/ENTERボタンを押します。
プログラム演奏中	「RMS」が点滅するまでPLAY MODEボタンを繰り返し押し、点滅したらREPEAT/ENTERボタンを押します。

REPEAT/ENTERボタンを押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

ご注意
- 22曲をプログラムした後さらに曲を選ぶと、最初にプログラムした内容が消えて、新しい曲がプログラムされます。

いろいろな機能を使う

低音を強調するには F

音楽に合わせて、重厚で迫力のある音で演奏を楽しめます。



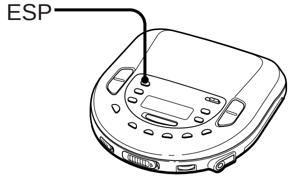
MEGA（メガ） BASS（ベース）スイッチを好きな位置に合わせます。

ご注意

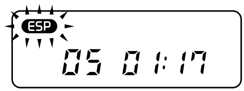
- 音がひずむときは、音量を下げてください。

音飛びを防ぐには (ESP（イーエスピー）) G

ESP (Electronic（エレクトロニック） Shock（ショック） Protection（プロテクション）) 機能はCDのデータを約10秒分ずつ電子回路に貯えておくことにより、音飛びを防ぎます。移動中、歩行中や車の中など振動の多いところで聞くときは、この機能を使ってください。



ESP切換ボタンを押します。
「ESP」が出ます。



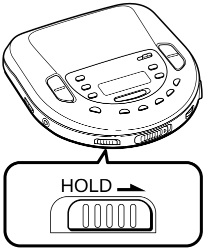
ESP機能を解除するには、もう一度ESP切換ボタンを押します。

ご注意

- 強い衝撃が加わると演奏が停止することがあります。
- 次のような場合、ノイズが出たり、音が飛んだりすることがあります。
  - — 汚れや傷のあるディスクを聞いているとき
  - — 特殊な信号が入ったテストディスクなどを聞いているとき
  - — 本機に連続的に衝撃が加わっているとき
- 演奏中にESP機能を切り換えると、少しの間、音がとぎれます。
- 光デジタルケーブルをお使いの場合は、ESP機能は働きません。

誤動作を防ぐには（ホールド機能）H

ディスクマンをカバンに入れているときなど、誤ってボタンが押されるのを防げます。（リモコンで操作することはできます。）

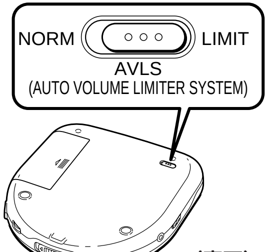


HOLDスイッチを矢印の方向へ動かします。
操作ボタンを押しても、「Hol d」が出て動作しません。

ホールド機能を解除するには、HOLDスイッチを矢印と反対の方向へ動かします。

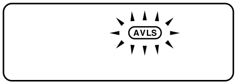
音もれを抑え耳にやさしい音で聞くには（AVLS）I

AVLS（Automatic Volume Limiter System）は耳にやさしい音にするために、音量がある一定以上に上がらないようにします。



（裏面）

AVLSスイッチを「LIMIT」に合わせます。
「AVLS」が出ます。

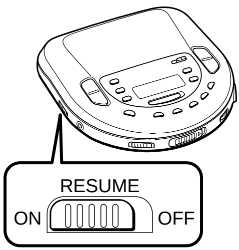


ご注意

• MEGA BASS機能とAVLSを同時に使うと、音がひずむことがあります。その場合は音量を下げてください。

止めたところからCDを聞くには（リジューム機能）J

通常は演奏を止めると、次は1曲目から演奏されますが、リジューム機能を使うと、最後に止めたところから演奏されます。



RESUME（リジューム）スイッチを「ON」に合わせます。

リジューム機能を解除するには、RESUMEスイッチを「OFF」に合わせます。

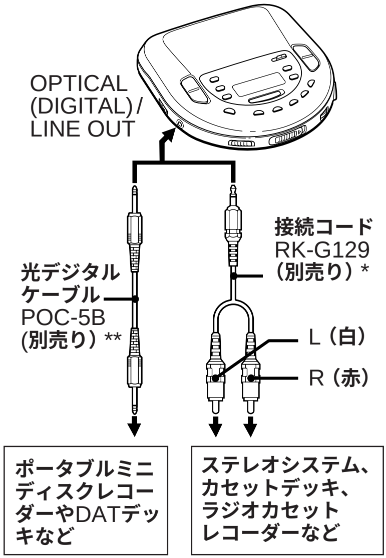
ご注意
- リジューム機能をONにしていても、ふたを開けると最後に止めたところの記憶が消え、CDの1曲目から演奏が始まります。
- リジューム演奏は、ー約30秒の誤差が出ることがあります。

動作の確認音を止めるには
動作確認のためのピッという音を鳴らないようにできます。（ラジオを操作しているときの確認音を止めることはできません。）

本体電源（ACパワーアダプター、充電式電池、乾電池）をはずします。本体の■ボタンを押しながら、再び電源を接続します。
再び確認音が鳴るようにするには、本体電源をはずし、■ボタンを押さずに本体電源を接続します。

ステレオ機器につなぐ K

他のステレオ機器でCDを聞いたり、テープやミニディスクに録音できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。接続する機器の電源を必ず切ってから接続してください。



*LINE INやREC INジャックのない機器をつなぐときは、別売りの接続コードRK-G134を使ってMICジャックに接続します。
**角型ジャック付き機器の場合はPOC-5AB（別売り）をお使いください。

ご注意

- CDを聞く前に、つないだ機器の音量を下げてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
- 「ピッ」という操作音はOPTICAL (DIGITAL) /LINE OUTジャックからは出力されません。
- OPTICAL (DIGITAL) /LINE OUTジャックにケーブルを接続しているときには、本体のVOLUME つまみでの音量調節はできません。
- ブランクサーチ（無音部検出）機能のあるカセットデッキなどで録音するときは、ESP機能を切ってください。ブランクサーチ機能が働かなくなります。

光デジタルアウトによる録音について

MD、DAT等への録音は、下記のように行ってください。

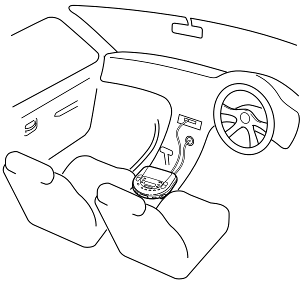
1 CD側の▶IIボタンを押す。（PLAYする）
2 もう一度▶IIボタンを押す。（一時停止する）
3 I◀◀ /▶▶Iボタンを押して、録音したい曲にする。
4 MD、DAT等の録音ボタンを押す。
5 CD側の▶IIボタンを押して一時停止を解除する。

ご注意

- 光ケーブルの接続はCDプレーヤーが停止している状態で行ってください。STOP操作直後に接続を行うと光出力が正しくでない場合があります。
- CD側を一時停止せずに録音を行うと、ディスクによっては1曲目の曲番が、正しく録音されないことがあります。
- 本機を充電式電池または乾電池でお使いになると光デジタル信号は出力されません。（録音ができないなどの症状がでます。）ACパワーアダプターでお使いください。
- MEGA BASSシステムはPHONES/REMOTEジャックからの出力には働きますが、OPTICAL (DIGITAL) /LINE OUTからの出力には働きません。
- ESP機能は働きません。

車の中で聞くには L

下の絵のように、車の中でCDを聞くことができます。



ディスクマンをカーカセットデッキにつなぐには、次のカーアクセサリーが必要です。

- マウントキット CPM-450PC/CPM-300PC（マウントプレート＋カーバッテリーコード＋カーコネクティングパック）

または

- カーバッテリーコード DCC-E245とカーコネクティングパック CPA-8/CPA-9

詳しくは各製品の取扱説明書をご覧ください。

マウントキット（CPM-450PCなど）を使うときは

カーマウントアダプター（マウントプレートに付属）をマウントプレートに取り付けてから、ディスクマンを取り付けてください。

ご注意

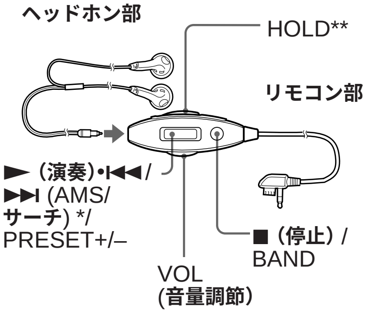
- ディスクマンをダッシュボードの上に置かないでください。
- ディスクマンを直射日光の当たる車の中に置かないでください。
- 雑音を減らすためソニーのカーコネクティングパックを使うことをおすすめします。

イグニッション連動オフ機構

充電式電池や乾電池が入っていても、車のエンジンを切る（イグニッションキーをOFFにする）と、ディスクマンは自動的に停止状態になります。（車種によってはこの機能が働かないことがあります。）

付属のリモコンを使う M

ヘッドホン部を取りはずして、リモコン部をワイヤード（コード付きの）リモコンとして使うこともできます。



*Automatic Music Sensor
**リモコンを使っていないときは、HOLDスイッチを矢印の方向へ動かします。
HOLD機能を解除するには、HOLDスイッチを矢印と反対の方向へ戻します。

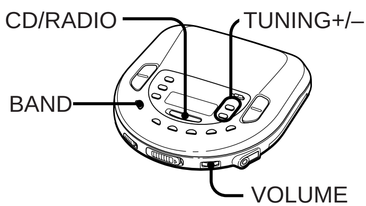
ご注意

• 付属のリモコンでは、他のディスクマンを操作できないことがあります。

►*ラジオの聞きかた*

ラジオを聞く N

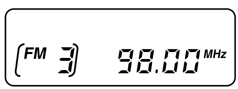
「CDを聞く」（5ページ）の手順1に従ってアラカルトヘッドホンとACパワーアダプターを取り付けてください。本体とリモコンのHOLDスイッチが解除されていることもご確認ください。



1 **CD/RADIOスイッチを「RADIO」に合わせる。**

2 **BAND切換ボタンを押してバンドを選ぶ。**
BAND切換ボタンを押すたびに、バンド表示が「FM1」→「FM2」→「FM3」→「FM4」→「FM5」→「AM」と変わります。

3 **TUNING+または−ボタンを押して聞きたい放送局に合わせ、音量を調節する。**



ラジオを止めるには

CD/RADIOスイッチを「CD (RADIO OFF)」に合わせます。

ご注意

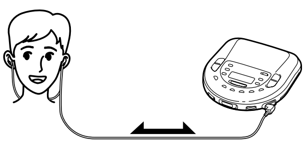
- ラジオを聞かないときは電池の消耗を防ぐため、CD/RADIOスイッチを「CD (RADIO OFF)」に合わせることをおすすめします。
- リモコンではラジオの入/切や聞きたい局に合わせることはできません。記憶させた放送局を聞くときにリモコンをお使いください。

聞きたい局をすばやく受信するには

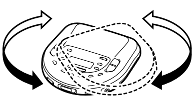
「ラジオを聞く」の手順3でTUNING+または−ボタンを押し続けます。「ピピピ」という音とともに受信周波数が自動的に変わり始めます。放送局を受信すると自動的に止まり、放送が聞こえます。

よい受信状態で聞くには

FMの場合：ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。
コードをできるだけのばしてお使いください。



AMの場合：本体の向きを変えて最もよく受信できる状態を選んでください。



ご注意

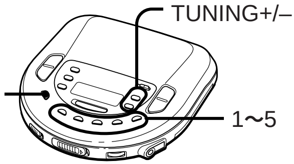
- FM放送を聞くときには、ヘッドホンのコードがアンテナとして働くので、LINE OUTジャックにつないだ機器でFM放送を聞く場合も、ヘッドホンはつないだままにしておいてください。

乾電池または充電式電池でラジオをお聞きの場合は

DC IN 4.5Vジャックに外部電源のプラグを差し込むとラジオの選局は初期状態に換わります。続けてラジオを聞くには、もう一度聞きたい放送局に合わせなおしてください。

放送局を記憶させる O

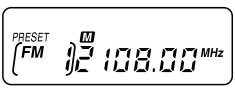
放送局を記憶させ、次からは記憶させた番号（1～5）でその局を選ぶことができます。FM1～5バンドで各5局、AM5局、合計30局まで記憶できます。



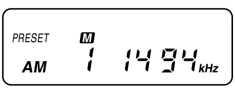
1 **記憶させたい放送局を受信する。**

2 **記憶させたい番号の数字ボタン（1～5）を2秒以上押す。**
記憶されると「ピピッ」と音がして表示窓に「PRESET」とMマークが出ます。
新しい放送局を記憶すると、同じ番号に記憶されていた前の局は消えます。

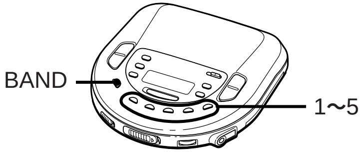
FMの場合



AMの場合



記憶させた放送局を聞く P

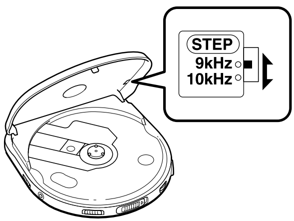


1 **BAND切換ボタン（リモコンでもBAND切換ボタン）を押してバンドを選ぶ。**

2 **聞きたい局の数字ボタン（1～5）（リモコンではPRESET +/–ボタン）を押す。**

海外でお使いになるときは Q

AMの周波数間隔を変えることができます。お聞きになる地域によって、ふたの裏側のSTEPスイッチをボールペンなど先のとがったもので「9kHz」または「10kHz」に合わせてください。



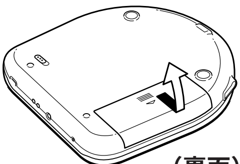
ご注意
- 周波数間隔は、いったんラジオの電源を切って再び入れるまで変わりません。
- 周波数間隔を変えたときは、記憶されていた放送局の情報は失われます。再び入れ直してください。

充電式電池で使う R

初めてお使いになるときは、充電式電池を充電してください。
充電式電池はBP-DM10（付属）またはBP-DM20（別売り）をお使いください。使いかたは同じですが、充電時間、持続時間が違いますので、お持ちの充電式電池を確かめてお使いください。

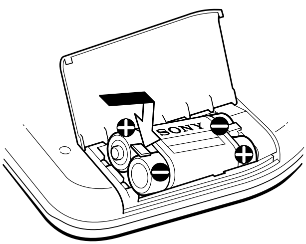
1 **CD/RADIOスイッチを「CD (RADIO OFF)」に合わせる。**

2 **電池入れのふたを開ける。**



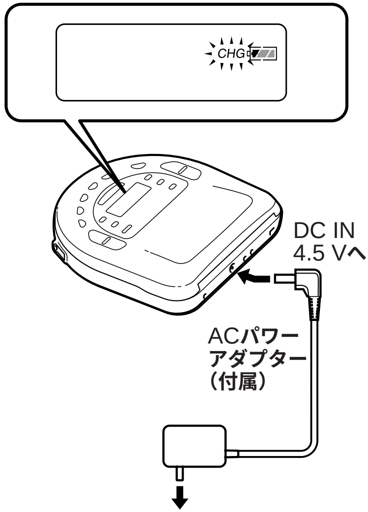
（裏面）

3 **「SONY」の文字の向きがふたの裏側の絵と同じになるように充電式電池を入れ、ふたを閉める。**



4 **下の絵のように付属のACアダプターをつなぎ、約2時間 (BP-DM10の場合) または約3時間 (BP-DM20の場合) 充電する。**

充電中は「CHG」と が出ます。



5 **充電し終わって「CHG」と が消えたら、ACパワーアダプターをはずす。**

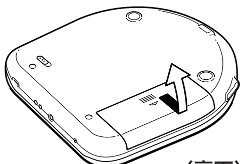
充電の目安

電池が消耗すると が表示され、その後「Lo batt」が表示されます。電池を充電してください。
充電式電池を長持ちさせるために、電池は消耗してから充電してください。

ご注意
- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 初めて充電するときや長時間使用しなかった後では、充電しても通常の持続時間より短いことがあります。何回か充放電をすると通常の状態に戻ります。
- 充電後、常温で使える時間の半分くらいで電池がなくなってしまうときは、新しい充電式電池BP-DM10またはBP-DM20と交換してください。これ以外の充電式電池（単3形充電式電池など）は使えません。

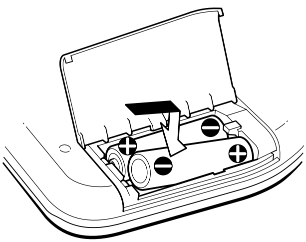
乾電池で使う S

1　電池入れのふたを開ける。



（裏面）

2　単3形アルカリ乾電池2本（別売り）を電池入れの⊕⊖の表示に合わせて入れ、ふたを閉める。



電池交換の目安

乾電池が消耗すると が表示され、その後「Lo batt」が表示されます。2本とも新しい乾電池と交換してください。

乾電池の取り扱いについて

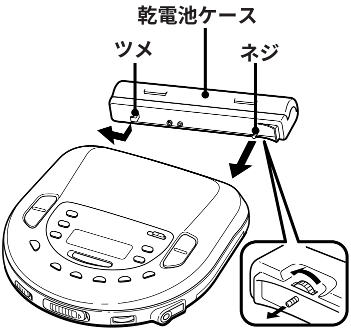
液漏れや破裂を防ぐため次のことをお守りください。
- 新しいものと古いもの、または違う種類のものを混用しないでください。
- 充電しないでください。
- 長い間使わないときは、出しておいてください。
- 万一、液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい電地に入れ換えてください。

ご注意
- 本機には、マンガン電池はお使いになれません。

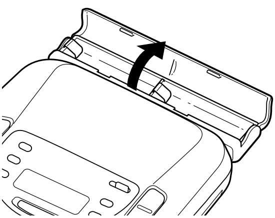
乾電池ケースを使う T

本体内の充電式電池または乾電池とともに付属の乾電池ケースを使うと、より長時間、演奏を楽しむことができます。本体内の充電式電池または乾電池と、乾電池ケース内の乾電池は同時に消耗していきます。

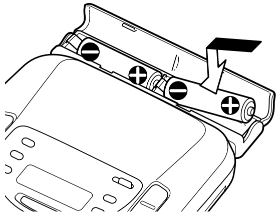
1 乾電池ケースのツメを本体にひっかけ、ネジをしめる。



2 乾電池ケースのふたを開ける。



3 単3形アルカリ乾電池2本（別売り）を電池入れの⊕⊖の表示に合わせて入れ、ふたを閉める。



電池の持続時間（水平に置き、振動のない状態で演奏した場合）

	ESPがOFFのとき	ESPがONのとき	ラジオ
BP-DM20（約3時間充電*）	約8時間	約7時間	約13時間
アルカリ乾電池2本	約15時間	約9.5時間	約25時間
BP-DM10（約2時間充電*）	約3.5時間	約3時間	約6.5時間
BP-DM20＋乾電池ケース（アルカリ乾電池2本）	約24時間	約20時間	約38時間
アルカリ乾電池2本＋乾電池ケース（アルカリ乾電池2本）	約33時間	約22時間	約60時間
BP-DM10＋乾電池ケース（アルカリ乾電池2本）	約20時間	約15時間	約32時間

*充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

▶*その他*

使用上のご注意

安全のために

- 本機に使われているレーザー光が目にあたると危険です。絶対にプレーヤーを分解したりしないでください。
- 万一、異物が中に入ったときは、電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- DC IN 4.5 V（外部電源）ジャックには異物を入れないでください。

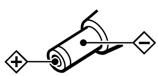
電源について

- 本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

ACパワーアダプターについて

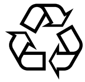
- 付属のACパワーアダプターまたはAC-E45L/AC-E45MA（別売り、国内用）/AC-E45HG（別売り、海外用）をご使用ください。これ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

極性統一形プラグ



- 電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

充電式電池と乾電池について



Ni-Cd

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

この製品には、ニカド電池が使用できます。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

- 電池を火の中に入れないでください。
- 発熱、発火などのおそれがありますので、充電式電池の⊕端子と⊖端子を金属で接続しないでください。（金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管はしないでください。）

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。
  ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所に置かないでください。
  — 直射日光があたる場所や暖房器具の近 くなど温度が非常に高いところ。
  — ダッシュボードや直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  — 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  — ホコリの多いところ。
  — ぐらついた台の上や傾いたところ。
  — 振動の多いところ。
  — 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。
- ACパワーアダプターでご使用中は、本機を絶対に布などでくるまないでください。本機の内部および外部の温度が上がり、思わぬ結果が発生することがあります。

ヘッドホンで聞くときのご注意

- **交通安全のために**
  自転車やバイク、自動車などの運転中は、ヘッドホンは絶対に使わないでください。歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。とくに、踏切や横断歩道では充分にご注意ください。

- **耳を守るために**
  耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないように注意しましょう。

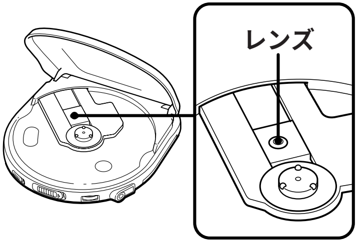
- **まわりの人のことを考えて**
  ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多い所では、音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

お手入れ

レンズの汚れは

レンズクリーニングキットKK-DM1 (別売り) を使ってクリーニングしてください。



キャビネットの汚れは

柔らかい布で空ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう１度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

演奏が始まらない。または、ディスクを入れても「no dISC」が出る。

- ➡ ディスクが汚れている、または大きな傷がある。大きな傷がある場合は、ディスクを取り換える。
- ➡ ディスクのラベル面を上にして入れる。
- ➡ 結露している。ディスクを取り出して、そのまま数時間置く。
- ➡ レンズが汚れている。
- ➡ 本体、電池入れのふたをしっかり閉める。
- ➡ 充電式電池と乾電池を正しく入れる。
- ➡ ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。

►IIボタンを押すと、「00」が一瞬表示されて消える。演奏が始まらない。

- ➡ 電池の残量がない。充電式電池は充電する。乾電池はすべて新しいものに取り換える。

音が出ない、または雑音が聞こえる。

- ➡ プラグをしっかり差し込む。
- ➡ プラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布でクリーニングする。

「HI dc In」表示が出ている。

- ➡ 付属のACパワーアダプターか別売りのACパワーアダプターAC-E45L/AC-E45MA/AC-E45HGを使う。

ボタンを押すと「HoLd」が出る。

- ➡ HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と逆の方向にずらし、HOLD機能を解除する。

ボタンを押すと「Lo batt」が出る。

- ➡ 充電式電池が消耗している。ACパワーアダプターを接続し、電池を充電する。
- ➡ 新しい乾電池と取り換える。

乾電池使用時の演奏時間が短い。

- ➡ マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。
- ➡ 新しい乾電池と取り換える。

デジタル録音時に曲番が正しく録音されない。

- ➡ MD (DAT) などの機器側で正しく入れなおす。
- ➡ ステレオ機器につなぐ[K]の項の録音手順で録音する。

ラジオを聞いているとき、音が小さかったり、雑音が出る。

- ➡ 新しい乾電池と取り換える。
- ➡ 本機をテレビから遠ざける。

主な仕様

型式
　コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

取り込み方式
　非接触光学式読み取り
　（半導体レーザー使用）

レーザー
　GaAlAs　ダブルヘテロダイオード
　l=780 nm

回転数
　約500 rpm〜200 rpm（ESP OFF時）
　約1000 rpm〜400 rpm（ESP ON時）

エラー訂正方式
　ソニースーパーストラテジー
　（クロスインターリーブリードソロモンコード）

復号化（D/A）
　1 bitクォーツ時間軸制御

周波数特性
　20 Hz〜20,000 Hz $^{+1}_{-2}$ dB*

ワウ・フラッター
　測定限界以下*

次のページに続く➔

出力端子（電源電圧4.5 V時）

ライン出力（ステレオミニジャック）1個
最大出力レベル　0.7 V（47 kw）
推奨負荷インピーダンス 10 kw以上

ヘッドホン出力（ステレオミニジャック）1個
最大出力レベル 15 mW+15 mW（EIAJ/16 w）
推奨負荷インピーダンス　16 w

光デジタル出力（光ミニジャック）1個
最大出力レベル –21～ –15 dBm
発光波長　630 ～ 690 nm

＊日本電子機械工業会（EIAJ）規格による測定値です。

ラジオ

周波数範囲（STEPスイッチ）

9 kHz:　FM 76.0 – 108.0 MHz
　　　　AM 531 – 1,710 kHz
10 kHz: FM 87.5 – 108.0 MHz
　　　　AM 530 – 1,710 kHz

アンテナ

FM: ヘッドホンコードアンテナ
AM: 内蔵フェライトバーアンテナ

電源•その他

電源

- 充電式ニッケル水素電池BP-DM20、DC 2.4 V、1200 mAh（別売り）充電式ニカド電池BP-DM10、DC 2.4 V、650 mAh（付属）
- 単3形アルカリ乾電池2本（別売り）DC 3.0 V
- 外部電源ジャック　定格DC 4.5 V
ACパワーアダプター（付属）を接続してAC 100V電源から使用可能
ワールドモデルはAC 100～240V電源から使用可能
カーバッテリーコード（別売り）を接続して自動車バッテリーから使用可能

本体寸法

約132・34.0・135.6 mm（幅/高さ/奥行き、最大突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず）

最大外形寸法

約132・34.5・135.6 mm（幅/高さ/奥行き）

質量

本体　約280 g
ご使用時　約375 g（アルカリ乾電池、ディスク、アラカルトヘッドホンシステムを含む）

動作温度

5 C～35 C

付属品

ACパワーアダプター(1)
アラカルトヘッドホンシステム(1)
充電式電池(1)
乾電池ケース(1)
キャリングケース(1)
取扱説明書(1)
サービス窓口•ご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

国内のみ販売

ACパワーアダプター AC-E45L、AC-E45MA
カーマウントキットCPM-450PC（マウントプレート＋カーバッテリーコード＋カーコネクティングパック）
カーコネクティングパック CPA-8
接続コード RK-G129、RK-G134
カーバッテリーコード付きカーコネクティングパック CPA-85U

国内、海外で販売

アクティブスピーカー SRS-A21、SRS-A41、SRS-A71
充電式ニカド電池 BP-DM10
充電式ニッケル水素電池 BP-DM20
光デジタルケーブル POC-5B、POC-10B、POC-15B、POC-5AB、POC-10AB、POC-15AB
カーバッテリーコード DCC-E245
ヘッドホン MDR-E848、MDR-35

海外でのみ販売

ACパワーアダプター AC-E45HG
マウントプレートCPM-300P
マウントキットCPM-300PC（マウントプレート＋カーコネクティングパック＋カーバッテリーコード）
カーコネクティングパック CPA-9
接続コード RK-G129HG
カーバッテリーコード付きカーコネクティングパック DCC-E26CP

国によって扱っているアクセサリーが違います。詳しくはお買い上げ店、サービス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

製品上のCEマークはEU加盟国で販売されるもののみに有効です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CDコンパクトプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。

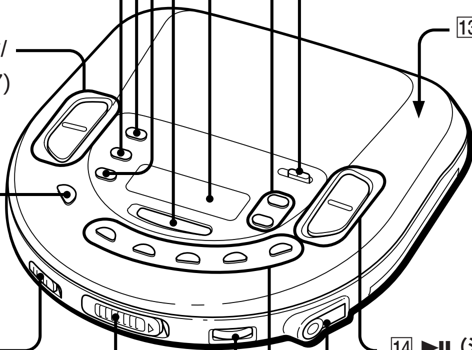
ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

各部のなまえ U

（　）内のページに詳しい説明があります。



1 REPEAT/ENTERボタン (8)

2 ESP*ボタン (11)

3 PLAY MODEボタン (8)

4 ⏮/⏭ (AMS**/search) ボタン (7)

5 BAND切換ボタン (16)

6 HOLDスイッチ (12)

7 OPENつまみ (6)

8 VOLUME（音量調節）つまみ (6)

9 CD/RADIOスイッチ (6, 16)

10 表示窓

11 TUNING +/–ボタン (17)

12 MEGA BASSスイッチ (11)

13 STEPスイッチ（ふたの裏側）(18)

14 ▶II（演奏/一時停止）/■（停止）ボタン (6)

15 PHONES/REMOTE（ヘッドホン／リモコン）ジャック (5)

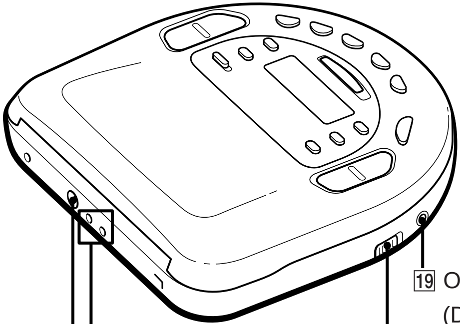
16 1 ～ 5ボタン (18)

*ESPはElectronic Shock Protectionの略です。

**AMSはAutomatic Music Sensorの略です。
曲の頭出しをして選曲する方法です。

次のページに続く➔

各部のなまえ（つづき）



17 DC IN 4.5V（外部電源入力）ジャック (5)

18 **外付け電池端子** (21)

19 OPTICAL (DIGITAL) / LINE OUT **（光デジタル/ライン出力）ジャック** (13)

20 RESUME **スイッチ** (12)

21 AVLS*** **（快適音量）スイッチ（裏面）** (12)

***AVLSはAutomatic Volume Limiter Systemの略です。

English

As you read, refer to the illustrations in the Japanese corresponding text (labeled with [A], [B], etc.)

►*Disc Playing*

Playing a CD right away! [A]

If you want to play a CD right now, choose to use your Discman on house current. Other choices are the following three: rechargeable battery, dry batteries (see "Power Sources") and car battery.

1 Make connections.
Connect the supplied earphones with remote control to the PHONES/REMOTE jack firmly. Also connect the supplied AC power adaptor to the DC IN 4.5 V jack of your Discman and a wall outlet. If the AC power adaptor does not fit the wall outlet, use the AC plug adaptor.

2 Place a CD.
① Slide OPEN to open the lid.
② Fit the CD to the pivot with the label side up.

3 Play a CD.
① Set the CD/RADIO switch to “CD (RADIO OFF).”
② Press ►II (► on the remote control).
③ Adjust the volume.

To stop play, press ■.

To	Press
Pause (main unit only)	►II
Resume play after pause (main unit only)	►II
Find the beginning of the current track (AMS*)	I◄◄ (I◄◄ side of ► on the remote control) once**
Find the beginning of the previous tracks (AMS)	I◄◄ (I◄◄ side of ►) repeatedly**
Find the beginning of the next track (AMS)	►►I (►►I side of ►) once**
Find the beginning of the succeeding tracks (AMS)	►►I (►►I side of ►) repeatedly**
Go forward quickly	Hold down ►►I (►►I side of ►)**
Go backwards quickly	Hold down I◄◄ (I◄◄ side of ►)**

*AMS = Automatic Music Sensor
**These operations are possible during both play and pause.

To remove the CD

Remove the CD while pressing the pivot.

Notes on controlling the volume with the remote control

Set the VOL (volume) control on the remote control to MAX. Then adjust the volume on the Discman to the level that you want to be the maximum for adjusting the volume with the remote control.

On display

- When you press ►II or ► (when RESUME is set to OFF), the total number of the tracks in the CD and the total playing time appear for about 2 seconds.
- During play, the track number and the elapsed playing time of the current track appear.
- Between the tracks, the time to the beginning of the next track will appear with the "–" indication.
- During pause, the elapsed playing time of the current point flashes.

Notes on handling CDs

- To keep the CD clean, handle it by its edge.Do not touch the surface.
- Do not stick paper or tape onto the CD.
- Do not expose the CD to direct sunlight or heat sources such as hot air ducts. Do not leave the CD in a car parked in direct sunlight.

Playing tracks repeatedly (Repeat Play) B

You can play track repeatedly in normal, INTRO PGM, shuffle or RMS (Random Music Sensor) play modes. Repeat all the tracks or only one track.

To repeat all the tracks

Press REPEAT/ENTER during play.
"↻" appears.

To cancel repeat play, press REPEAT/ENTER again.

To repeat a single track

1. Press REPEAT/ENTER while the track you want to repeat is playing. "↻" appears.
2. Press PLAY MODE repeatedly until "1" appears.

To repeat another track, press ⏮ or ⏭.

To cancel repeat play, press REPEAT/ENTER again.

Playing only the tracks you want (INTRO PGM play) C

You can choose and play your favorite tracks by scanning through the beginning of each track in a CD.

1. During play, press PLAY MODE repeatedly until "INTRO PGM"flashes.
2. Press ►II to start scanning.
   The Discman plays the first 15 seconds (approx.) of each track and "INTRO PGM" flashes faster.
3. Press REPEAT/ENTER while the track you want is playing. To skip the track, press ⏭ or just wait for the next track.

After you have gone through the CD, "INTRO PGM" stops flashing and the tracks you have chosen play automatically.

To finish programming before going through the CD, press ►II. The selected tracks will be played.

To cancel INTRO PGM play, press PLAY MODE until the play mode indication disappears from the display.

Playing tracks in random order (Shuffle Play) D

You can play the tracks on a CD in random order.

During play, press PLAY MODE repeatedly, until "SHUF" appears. The tracks play in random order.

To cancel shuffle play, press PLAY MODE repeatedly until the play mode indication disappears from the display.

Playing tracks in the order you want (RMS play) E

You can program up to 22 tracks to play in any order you choose.

1. During play, press PLAY MODE repeatedly until "RMS" flashes.
2. Press ⏮ or ⏭ to choose a track.
   The track number and the playing order appear.
3. Press REPEAT/ENTER to program the track.
4. Repeat steps 2 and 3 to program the remaining tracks.
5. Press ▶❚❚ .
   "RMS" stops flashing and the tracks you have chosen play in the order you specified.

To cancel RMS play, press PLAY MODE until "RMS" disappears.

To check the program

During programming:
Press REPEAT/ENTER before step 5.
During RMS play:
Press PLAY MODE repeatedly until "RMS" flashes, then press REPEAT/ENTER.
Each time you press the button, the track numbers appear in the order you specified.

Using other functions

To enjoy more powerful bass sound F

You can enjoy a powerful bass-boosted sound.

Set MEGA BASS to the desired position.

To prevent sound from skipping G

The ESP (Electronic Shock Protection) function prevents the sound from skipping by using a buffer memory that stores music data for about 10 seconds. Use this function when listening during a walk or playing in a car.

Press ESP.
The ESP indication appears.
To release the ESP function, press ESP again.

To lock the buttons H

You can lock your Discman against any accidental operation. (You can still operate the unit with the remote control.)

Slide HOLD in the direction of the arrow.
When you press any button, "*Hol d*" appears in the display and you cannot operate the unit.

To unlock, slide HOLD back.

To protect your hearing (AVLS) [I]

The AVLS (Automatic Volume Limiter System) function keeps down the maximum volume to protect your ears.

Set AVLS to LIMIT.
The AVLS indication appears.

To resume playing from the point you stopped the CD (Resume Play) [J]

Normally, every time you stop and play, playing starts from the beginning of the CD. The resume play function, however, lets you listen to from the point at which you last turned off the Discman.

Set RESUME to ON.

To cancel resume play, set RESUME to OFF.

To turn off the beep

You can turn off the beep that sounds as you operate your Discman. (You cannot turn off the beep that sounds during the radio operation.)

Disconnect the power source (AC power adaptor, rechargeable battery or alkaline batteries). While you press and hold down ■ on the main unit, connect the power source again.
To make the beep sound again, disconnect the power source, and then connect it without pressing ■.

Connecting to other stereo equipment [K]

You can listen to the CD through other stereo equipment, or record a CD on a cassette tape or a MiniDisc. Refer to the instruction manual of the other equipment for details. Before making connections, turn off each piece of equipment.

When you connect the Discman to a MiniDisc recorder, DAT deck, etc., use the optical digital connecting cord.

When you connect the Discman to a stereo system, cassette recorder, radio cassette recorder, etc., use the connecting cord.

Recording with optical digital connection

Record a CD on a MiniDisc, DAT, etc., according to the following procedure.

1 Press ►II on the CD player to start play.
2 Press ►II again to pause.
3 Press I◄◄ / ►►I to select the track you want to record.
4 Press ● (record) on the MiniDisc recorder, DAT recorder, etc.
5 Press ►II on the CD player to release pause.

Notes

- Connect the optical digital connecting cord while the CD player is in stop mode.
  If you make connection just after stopping the CD player, optical signals may not be output.
- If you record without pausing the CD player, some CD may have problem with recording the first track number correctly.
- When you use digital equipment with this unit, use the AC power adaptor. If you use a rechargeable battery or alkaline batteries, the optical digital signal will not be output from the unit. (Un expected phenomena may occur, for instance, you cannot record a CD on connected equipment.)
- MEGA BASS system works on output from the PHONES/REMOTE jack, but does not work on optical digital output from the OPTICAL (DIGITAL)/LINE OUT jack.
- When you use an optical digital connecting cord, the ESP function will be disabled.

Playing a CD in a car L

You can use your Discman in a car.

To connect your Discman to a car cassette deck, you need the following accessories:

- Mount kit CPM-450PC / CPM-300PC (Mount plate + Car battery cord + Car connecting pack)

or

- Car battery cord DCC-E245 and Car connecting pack CPA-8 / CPA-9

Refer to the instruction manual of each accessory for details.

When you use the mount kit (CPM-450PC or the equivalent)

Attach the car mount adaptor supplied to the mount plate before installing the Discman.

Switched ignition function

With this feature, your Discman stops automatically when you turn off the engine of the car. (This function is not possible with some cars depending on the model.)

Using the supplied remote control M

You can use the remote control as the wired remote control.

When you are not using the remote control, slide HOLD in the direction of the arrow.
To unlock, slide HOLD back.

►*Radio Operations*

Listening to the radio N

Connect the headphones to the remote control firmly. Then, connect the AC plug adaptor to the DC IN 4.5 V jack of the Discman and the wall outlet.

1 Set the CD / RADIO switch to "RADIO."

2 Press BAND until the band you want appears
Each time you press the button, the display changes: FM1 → FM2 → FM3 → FM4 → FM5 → AM.

3 Press TUNING + / – to tune in the station you want and adjust the volume.

To turn off the radio

Set the CD / RADIO switch to "CD (RADIO OFF)."

To tune in the station quickly

Hold down TUNING + / – in step 3 until the frequency digits begin to change in the display. The Discman automatically scans the radio frequencies and stops when it finds a clear station.

To improve broadcast reception

For FM, extend the headphones cord.
For AM, reorient the Discman itself.

When listening to the radio on dry batteries or rechargeable battery

If you connect the external power source plug to the DC IN 4.5 V jack of your Discman, the radio station will change to the initial one (default).
Tune in the station again to continue listening to it.

Presetting radio stations O

You can store radio stations into the Discman's memory. You can preset up to 30 stations, 5 for each band (FM1, FM2, FM3, FM4, FM5 and AM) in any order. Once you've preset the stations, press one of the 1 - 5 buttons to tune in your favorite stations.

1 Tune in a station you want.

2 Hold down one of the 1 - 5 buttons that you want to preset the new station for more than 2 seconds. When the station is preset successfully, the beep sounds and the indications "PRESET" and M appear in the display.
The new station replaces the old one.

Playing a preset radio station P

1 Press BAND (BAND on the remote control) to select the band.

2 Press one of the 1 - 5 buttons (PRESET +/– on the remote control) to tune in a stored station.

To change the AM tuning interval Q

When using the Discman abroad, change the AM tuning interval, if necessary. Set the STEP switch (inside the lid) to "9 kHz" or "10 kHz" using a pointed material.

9 kHz area: Asia and Europe
10 kHz area: the U.S.A., Canada and South America

►Power Sources

Using rechargeable battery R

Charge the rechargeable battery before using it for the first time.
You can use either BP-DM10 or BP-DM20 rechargeable battery for this unit. You can use them in the same way, but their charging time and battery life are different. check the model number of your rechargeable battery before using.

1 Set the CD/RADIO switch to "CD/RADIO OFF."

2 Open the lid of the battery compartment.

3 Insert the rechargeable battery so that the word "SONY" is facing the same direction as iillustrated inside the lid, and close the lid.

4 Connect the AC power adaptor. The indications "CHG" and light up. Charge for about 2 hours (for BP-DM10) or 3 hours (for BP-DM20).

5 When fully charged, "CHG"and disappear. Disconnect the AC power adaptor.

When to charge the battery

When the battery becomes weak, indication appears in the display.
When the battery is used up, "Lo bAtt" appears in the display. Charge the rechargeable battery.
To keep the original battery capacity for a long time, recharge the battery when the battery is used up (discharged).

Notes

- Charging time varies depending on how the rechargeable battery is used.
- If the battery is new or has not been used for a long time, it may not be charged completely until you charge and discharge it several times.
- If the battery life becomes shorter by about half, replace it with Sony BP-DM10 or BP-DM20 rechargeable battery. Do not use any other rechargeable battery (R6 type rechargeable battery, etc).

Using dry batteries S

1 Open the lid of the battery compartment.

2 Insert two LR6 (size AA) alkaline batteries by matching the ⊕ and ⊖ to the diagram inside the battery compartment and close the lid.

When to replace the dry batteries

When the battery becomes weak, indication appears in the display. When the battery is used up, "Lo batt" appears in the display. Replace all the batteries with new ones.

Notes

- Do not charge the dry batteries.
- Do not mix new batteries with old ones.
- Do not use different types of batteries together.
- Do not use manganese batteries for this unit.
- When the batteries are not to be used for a long time, remove them.

Using the battery case T

You can use the unit for longer time by using the battery case, in addition to the rechargeable battery or batteries in the battery compartment of the unit. Batteries in the battery case and the rechargeable battery or batteries in the battery compartment are consumed together.

1 Hook the battery case onto the Discman and fasten the screw.

2 Open the lid of the battery case.

3 Insert two LR6 (size AA) alkaline batteries by matching the ⊕ and ⊖ to the diagram inside the battery compartment and close the lid.

Continue to the next page →

Battery life (approx. hours)

When using	ESP off	ESP on	Radio
BP-DM20 (charged for about 3 hours*)	8	7	13
Two alkaline batteries	15	9.5	25
BP-DM10 (charged for about 2 hours*)	3.5	3	6.5
BP-DM20 + Battery case (two alkaline batteries)	24	20	38
Two alkaline batteries+ Battery case (twoalkaline batteries)	33	22	60
BP-DM10 + Battery case (two alkaline batteries)	20	15	32

(When the unit is used on a flat and stable place)
*Charging time varies depending on how the rechargeable battery is used.

Parts identification U

1 REPEAT / ENTER button
2 ESP* button
3 PLAY MODE button
4 ⏮ / ⏭ (AMS** / search) buttons
5 BAND button
6 HOLD switch
7 OPEN switch
8 VOLUME control
9 CD / RADIO switch
10 Display
11 TUNING+ / – buttons
12 MEGA BASS switch
13 STEP switch (inside the lid)
14 ►II (play / pause) / ■ (stop) button
15 PHONES / REMOTE jack
16 1 - 5 buttons
17 DC IN 4.5 V jack (external power intput jack).
18 Terminals for the battery case
19 OPTICAL (DIGITAL) / LINE OUT jack
20 RESUME swich
21 AVLS*** switch (rear)

*Electronic Shock Protection
**Automatic Music Sensor
***Automatic Volume Limiter System